

# 2026年3月期 中間決算説明会

---

2025年12月2日

高松機械工業株式会社(証券コード：6155)

**TAKAMAZ**

# 目次

1 2026年3月期 中間決算概要

2 今期の見通しについて

3 今期の取り組みについて

4 株主還元

以降、参考資料

当資料は、作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいております。経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

1

# 2026年3月期 中間決算概要

---

# ■ 決算サマリー

## ◆ 業績 ◆

- 全社受注高 **60億84百万円**（前年同期比9.3%増）
- 工作機械事業売上高 **53億68百万円**（前年同期比5.9%減）
- I T 関連製造装置事業売上高 **6億38百万円**（前年同期比3.4%減）
- 自動車部品加工事業売上高 **88百万円**（前年同期比3.3%増）
- 営業利益 **△1億88百万円**（前年同期は△3億4百万円）

## ◆ トピックス ◆

- 中期計画2027における当社取り組みをご紹介  
値決め（価格決定プロセスの再構築）、営業体制強化、全社バリューチェーン最適化に力点を置き、経営基盤の強化を推進！
- アジア地域向け戦略機「AT-1」の販売開始  
GSLシリーズの後継機種として登場！性能面を充実させ、省エネも実現！

# 2026年 3 月期 中間決算概要

(単位：百万円)

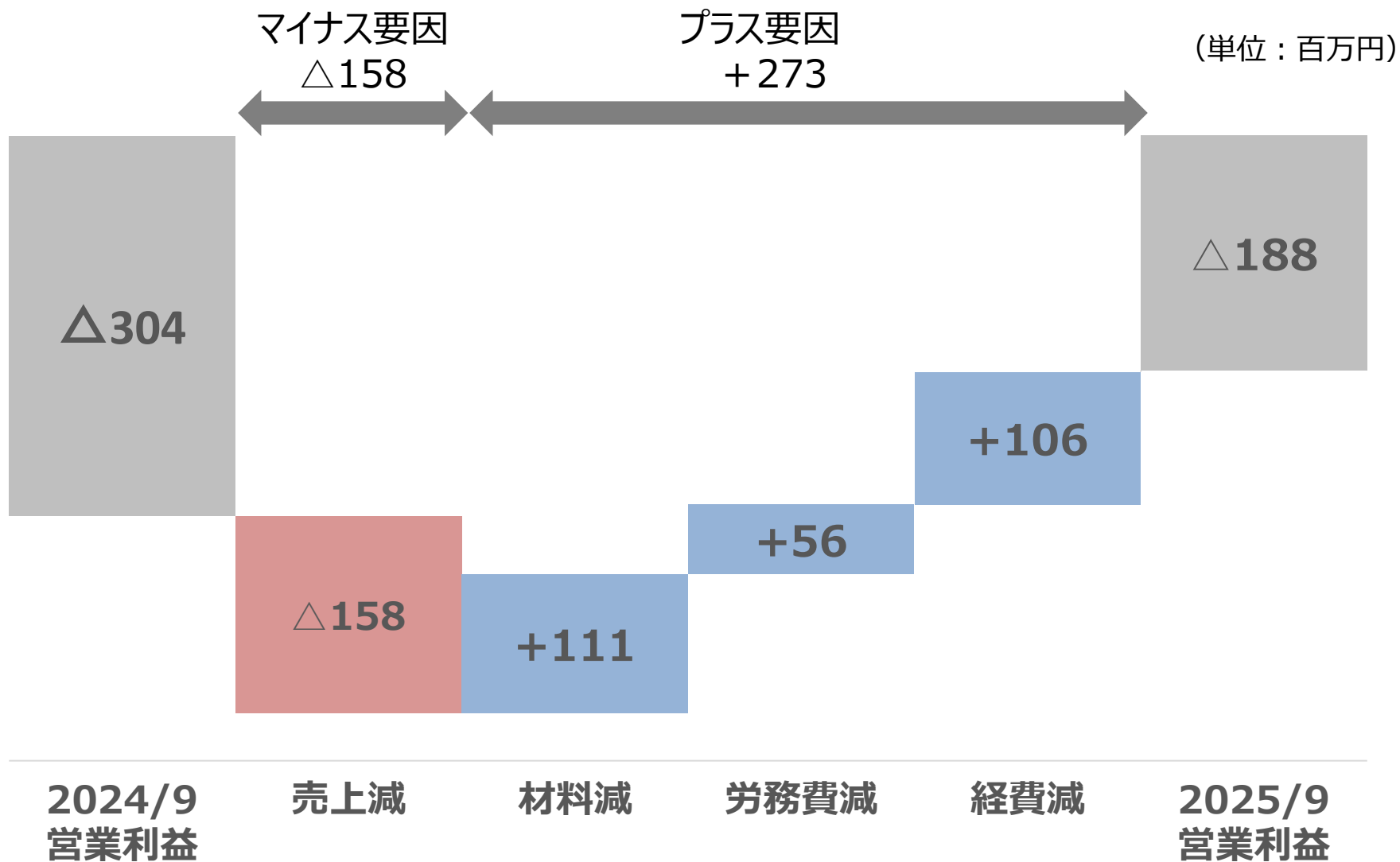
	2024/9		2025/9		対前年同期比	
	金額	対売上 (%)	金額	対売上 (%)	増減額	増減率 (%)
受注高	5,564	—	<b>6,084</b>	—	+520	+9.3
売上高	6,449	100.0	<b>6,096</b>	<b>100.0</b>	△353	△5.5
売上原価	5,034	78.1	<b>4,604</b>	<b>75.5</b>	△430	△8.5
売上総利益	1,415	21.9	<b>1,492</b>	<b>24.5</b>	+77	+5.4
販管費	1,719	26.7	<b>1,681</b>	<b>27.6</b>	△38	△2.2
営業利益	△304	△4.7	△ <b>188</b>	△ <b>3.1</b>	+115	—
経常利益	△288	△4.5	△ <b>236</b>	△ <b>3.9</b>	+52	—
親会社株主に帰属する 中間純利益	△784	△12.2	△ <b>270</b>	△ <b>4.4</b>	+513	—

※ 受注高は工作機械事業及び I T 関連製造装置事業の受注高の合計です。  
 工作機械事業の受注高は、旋盤・改造機、部品等の合計です。

- ✓ 国内需要の掘り起こし等の営業活動強化により、受注高が増加
- ✓ 第 1 四半期の受注低迷の影響から、売上高が減少
- ✓ 売上原価や販管費の削減に取り組み、利益改善が進みつつも営業損失となった

# 営業利益増減分析

費用の増加（収益の減少）  
収益の増加（費用の減少）

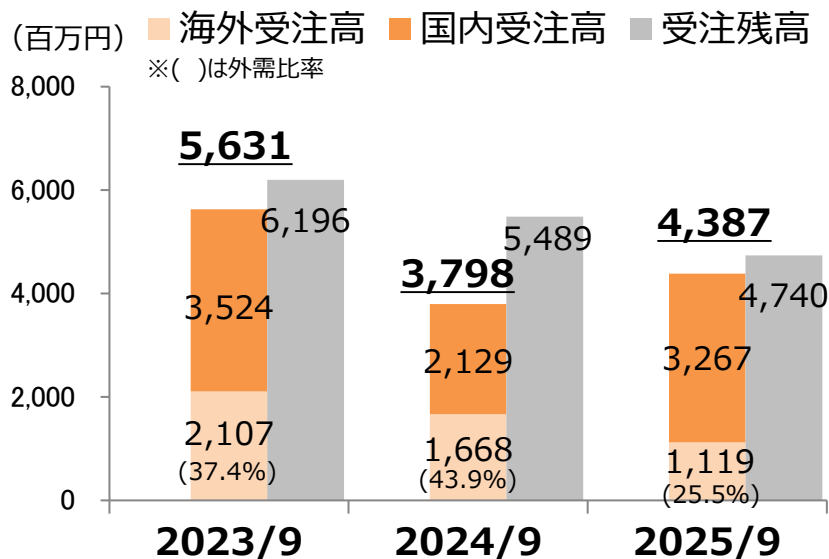


# ■ 工作機械事業の状況

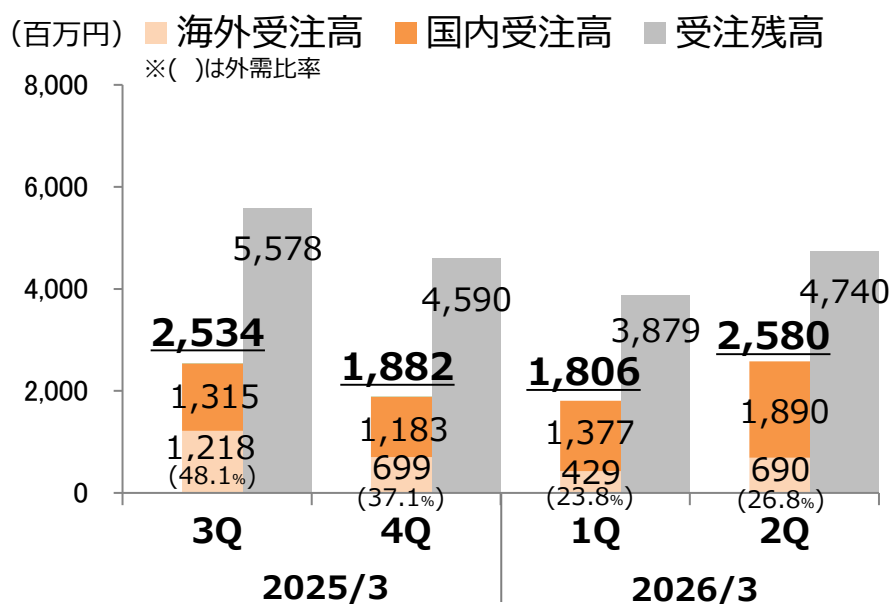
## 受注高・受注残高の推移

(注) 受注高及び受注残高は、旋盤・改造機に限定しています。

### 第2四半期（中間）



### 四半期会計期間



#### 決算のポイント

- ✓ 国内における営業強化策により受注が増加
- ✓ 米国通商政策の影響から欧米における受注が鈍化

#### 取り組み実績

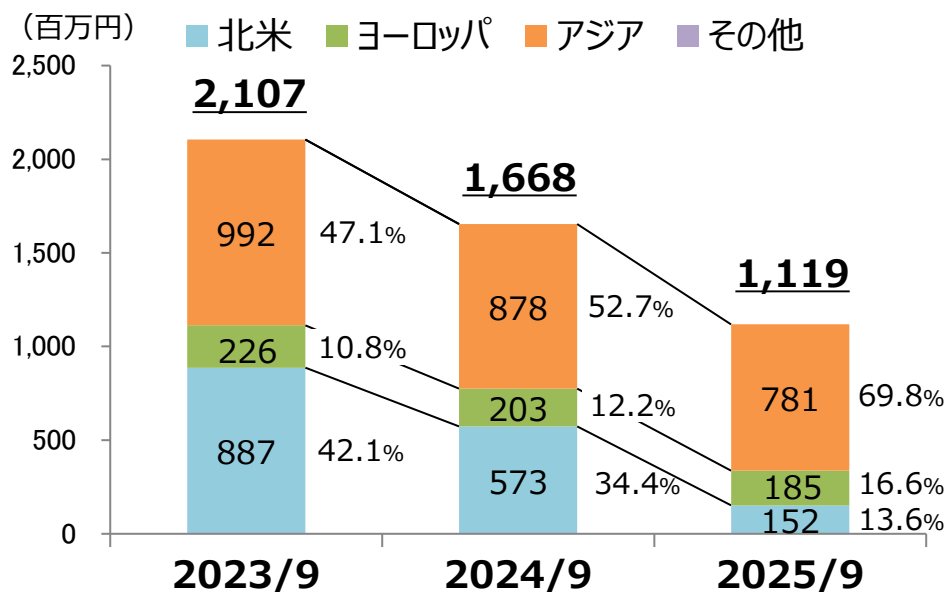
- ✓ 国内における営業キャンペーンや出展活動等を積極的に実施
- ✓ 米国通商政策の影響が少ないアジアでの営業活動を積極展開

# 工作機械事業の状況

## 海外受注高の推移

(注) 受注高及び受注残高は、旋盤・改造機に限定しています。

### 地域別



### 主要な国別

(単位: 百万円)

	2023/9	2024/9	2025/9
アメリカ	824 (+73.3%)	482 (△41.5%)	112 (△76.7%)
タイ	402 (+66.3%)	402 (+0.0%)	132 (△67.1%)
中国	73 (△74.2%)	203 (+177.2%)	305 (+50.0%)
ドイツ	226 (△23.5%)	152 (△32.5%)	134 (△12.4%)
ベトナム	393 (+123.0%)	85 (△78.3%)	114 (+33.8%)

※ %表示は対前年同期増減率

### 決算のポイント

- ✓ アメリカ、メキシコ向けの受注が減少
- ✓ タイは米国関税警戒感より、減少に転じている
- ✓ 中国での積極的な販路開拓により、受注は回復傾向

### 取り組み実績

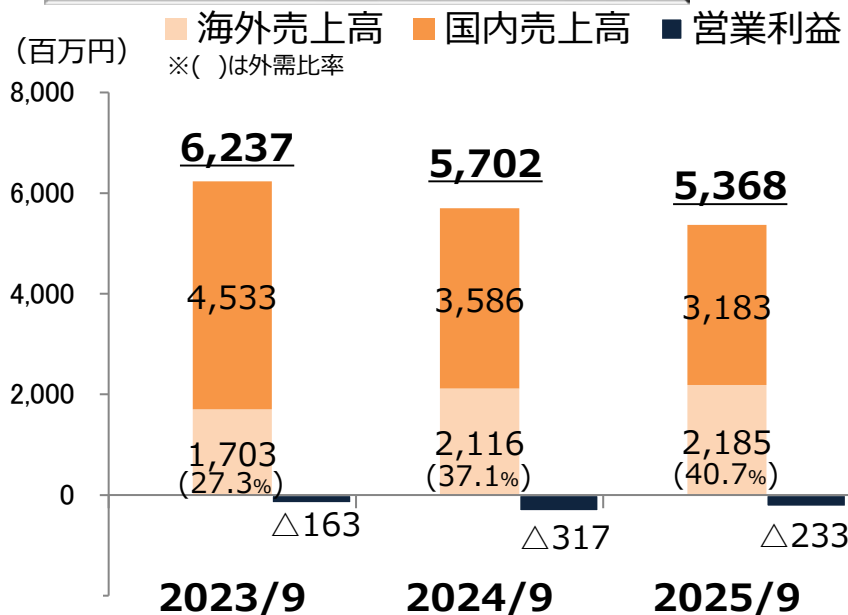
- ✓ 中国を中心として海外ディーラの関係強化に注力
- ✓ 各地域のニーズを反映した機械の開発を推進



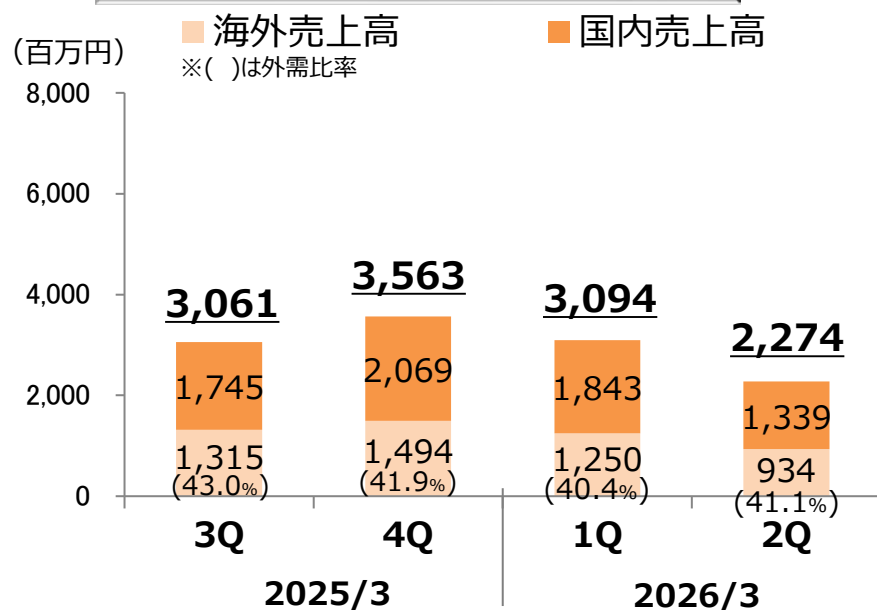
# ■ 工作機械事業の状況

## 売上高・営業利益の推移

### 第2四半期（中間）



### 四半期会計期間



#### 決算のポイント

- ✓ 前期後半からの受注減少の影響で、売上が減少
- ✓ 前年同期比で利益は改善傾向にあるものの、売上高が伸び悩み、営業損失が継続

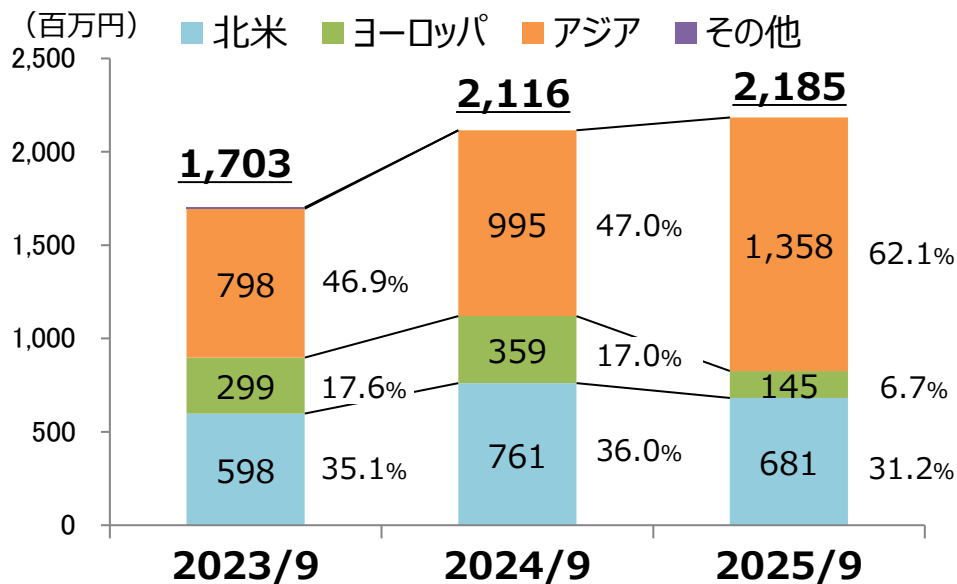
#### 取り組み実績

- ✓ 原材料費を中心とした生産コスト見直し効果の発現
- ✓ 納期を意識した製造、販売の連携強化の実行

# ■ 工作機械事業の状況

## 海外売上高の推移

### 地域別



### 主要な国別

(単位: 百万円)

	2023/9	2024/9	2025/9
アメリカ	448 (△50.8%)	729 (+62.5%)	613 (△15.8%)
タイ	321 (△4.1%)	391 (+21.6%)	364 (△6.8%)
中国	210 (△63.7%)	226 (+7.3%)	347 (+53.5%)
ドイツ	153 (+1,187.4%)	137 (△10.2%)	54 (△60.4%)
ベトナム	14 (△86.4%)	197 (+1,295.1%)	288 (+45.5%)

※ %表示は対前年同期増減率

### 決算のポイント

- ✓ タイ・中国・ベトナムを中心としてアジアでの売上が堅調に推移
- ✓ ヨーロッパでは景気不況の影響を受け、売上が大きく減少

### 取り組み実績

- ✓ 短納期ニーズに柔軟な対応ができる体制の整備
- ✓ 地域の実績・トレンド情報を各国で共有し、地域に適した営業施策を立案・実行

2

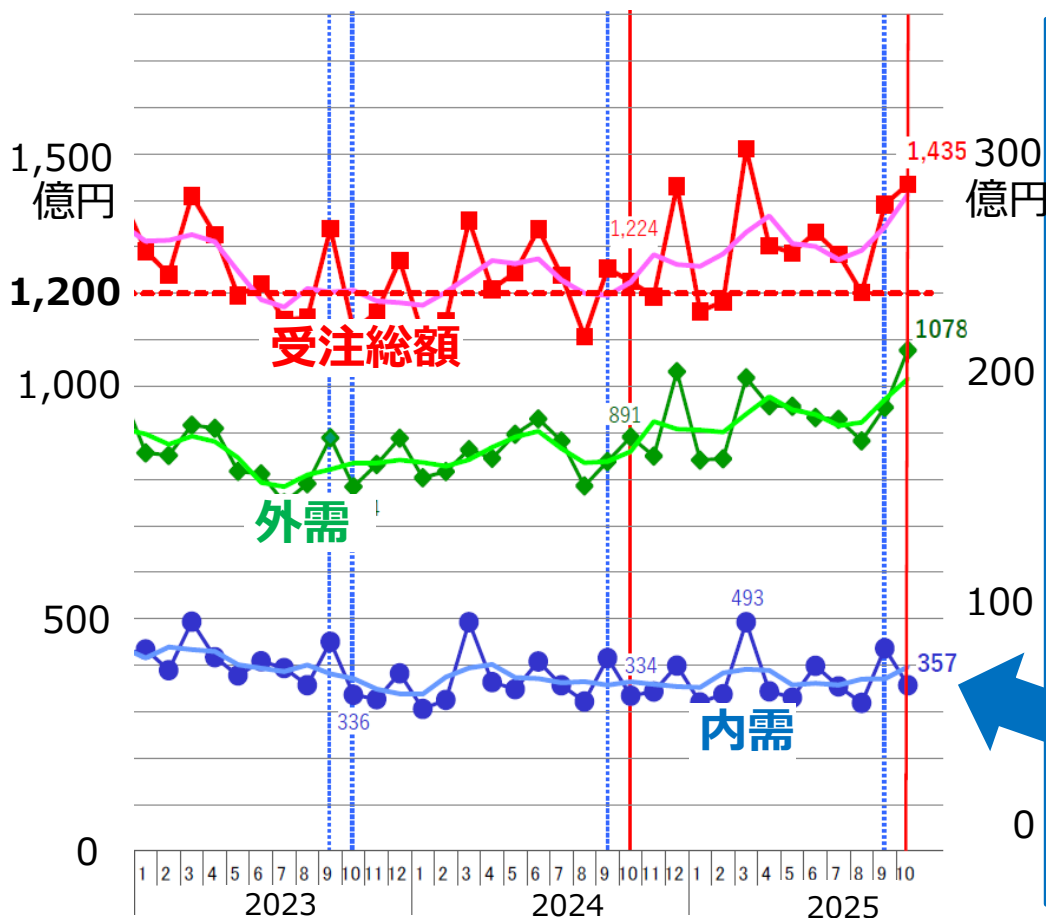
## 今期の見通しについて

---

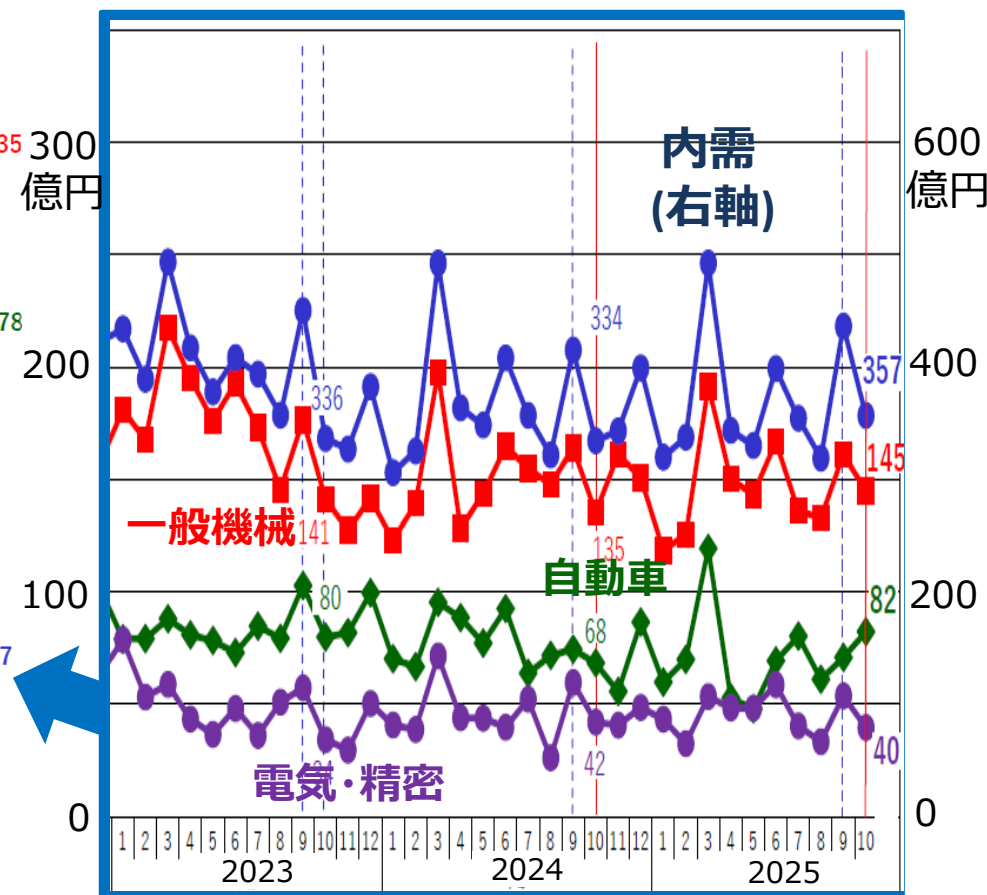
# 工作機械業界の動向

(出典：日本工作機械工業会)

## 業界受注額の月別推移



## 【 詳細 】 内需の月別推移



- 外需は10月に過去最高（1,000億円超）、業界全体の外需比率も75%を超える
- 内需は依然横ばいだが、自動車が直近2か月連続の増加となり復調傾向

# 業績予想

(単位：百万円)

	2025/3 実績	2026/3			
		年初予想	11/10 修正予想	対前期比	年初予想比
受注高	11,912	14,065	<b>12,990</b>	+9.1%	△7.6%
売上高	13,893	15,287	<b>12,519</b>	△9.9%	△18.1%
工作機械事業	12,327	13,603	<b>11,063</b>	△10.2%	△18.7%
I T 関連製造装置事業	1,383	1,500	<b>1,287</b>	△6.9%	△14.2%
自動車部品加工事業	182	184	<b>167</b>	△8.1%	△8.8%
営業利益	△160	138	△ <b>482</b>	—	—
工作機械事業	△200	13	△ <b>568</b>	—	—
I T 関連製造装置事業	31	116	<b>82</b>	+158.9%	△29.0%
自動車部品加工事業	8	8	<b>2</b>	△67.3%	△66.9%
営業利益率	△1.2%	0.9%	△ <b>3.9%</b>	—	—
経常利益	△103	133	△ <b>553</b>	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△645	84	△ <b>600</b>	—	—
1株当たり当期純利益（円）	△59.95	7.89	△ <b>55.63</b>	—	—

※ 受注高は工作機械事業及び I T 関連製造装置事業の受注高の合計です。  
 工作機械事業の受注高は、旋盤・改造機、部品等の合計です。

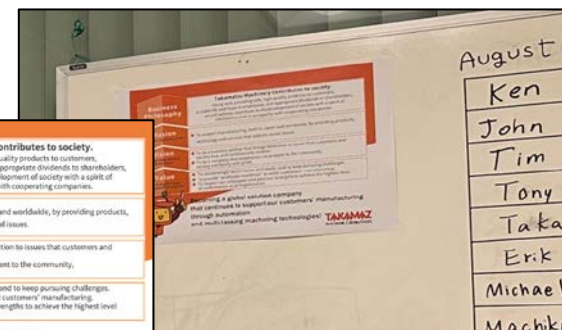
3

## 今期の取り組みについて

---

# 中期計画2027達成に向けての土台作り

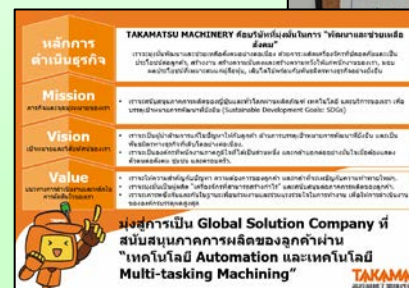
- 中期計画2027の達成には、まず**全社員の共通認識**が重要であり、全社に向け、中期計画2027、ミッション・ビジョン・バリュー（MVV）、長期ビジョンの継続的な周知に努めました！
- MVVは、国内だけでなく、海外法人にも広く周知しました！



アメリカ法人の掲示・英語バージョンのMVV



全社説明会の様子



タイ法人の掲示・タイ語バージョンのMVV





# ■ 中期計画2027の取り組み進捗

- 今期は「経営基盤強化」の内、値決め、営業体制強化、全社バリューチェーン最適化の3つにウェイトをおいて取り組んでいます！

## 【値決め】

仕入コストから販売価格まで横断管理し、**迅速かつ正確に営業判断できる**仕組みの整備に取り組んでいます。

## 【営業体制強化】

ターゲットの絞込みに応じた人員配置の見直し、バックオフィス機能の強化等、**「高効率的な」営業体制**の整備に取り組んでいます。

## 【全社バリューチェーン最適化】

顧客ニーズの把握から最適な提案までの**タイムラグの最小化**に向けて、社内外の整備に取り組んでいます。

これら3つの取り組みは、その他の戦略項目にも関連しており、中期計画2027の目標達成に向けて、着々と進捗しています！

【基本方針】 経営基盤強化と成長戦略の実行による収益性の改善	
戦略	値決め（価格決定プロセスの再構築）
	営業体制強化
	全社バリューチェーン最適化
	データ一元管理化
	人的リソースの最適化
	コスト削減
	収益基盤の強化
	グローバル戦略再構築
	技術・研究開発の強化
	事業ポートフォリオ見直し
【経営基盤強化】 黒字化に向けた組織体制強化	
【成長戦略の基盤強化と実行】	



# 受注獲得に向けた活動

## ●「夏の生産性応援キャンペーン」の実施

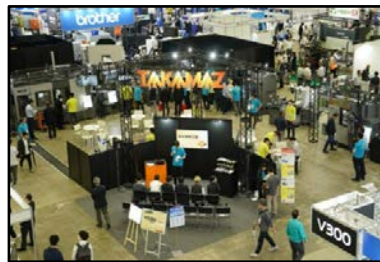
ー 販売店向けの販売促進策の実施や、様々な期間特典を展開！

ー 老朽設備の更新需要を喚起や、過去取引のあったユーザとの取引再開を実現！



HP上での告知案内

## ● 国内外展示会への出展



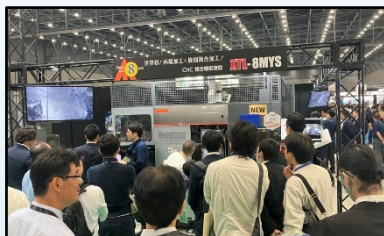
MACHINERY & ELECTRONICS EXHIBITION in KANAZAWA  
**MEX**  
金沢2025

金沢 5月15日～17日



**EMO**  
HANNOVER  
Innovate Manufacturing.

ドイツ 9月22日～26日



**MECT 2025**  
メカトロテック ジャパン 2025  
MECHATRONICS TECHNOLOGY JAPAN

名古屋 10月22日～25日

新たなキャンペーンの取り組みや、積極的な出展活動により、  
多くの引合や反響を獲得！

# 地域別戦略新機種「AT-1」の販売開始！

- グローバル戦略再構築における**地域別戦略の一施策として、アジア地域向けの戦略機種を開発！**
- アジア地域で長く好評を博してきたGSLシリーズ待望の後継機種！  
従来機種より**さらに広い対象物の加工が可能で、使いやすさや省電力性能にも優れており、多くのアップデートあり！**
- タイで開催の国際展示会（METALEX2025）での出展を皮切りに、販売開始！



新機種「AT-1」外観画像



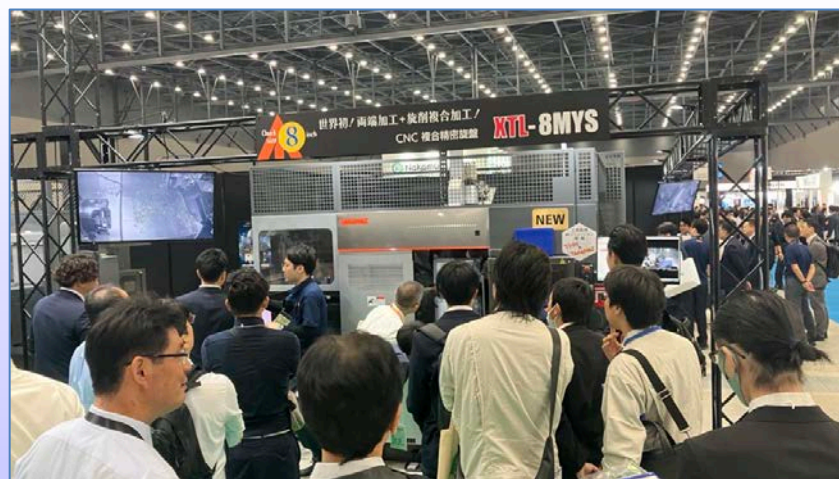
タイの国際展示会（METALEX2025）における展示の様子

# ■ 複合加工機「XTL-8MYS」の販売開始！

- ユーザにおける**工程集約の推進に資するハイスペック機種**として、この4月より販売開始！
- 回転工具や、追加の加工軸が配備されており、背面加工まで対応可能！  
EVなどのシャフトワークなど、**複雑な形状の切削もこの一台で！**
- 名古屋の工作機械見本市（メカトロテックジャパン2025）に出展し、大きな反響を得ました！



新機種「XTL-8MYS」外観画像



メカトロテック ジャパン2025における展示の様子



# その他取り組みのご紹介

- 当社の「XWT-8」が、第55回 機械工業デザイン賞IDEA「**日本デザイン振興会賞**」を受賞！
  - DX技術による高い作業性や省エネ性能などの高い機能性や精密さなどが高い評価を得て、本受賞に至りました！



「XWT-8」外観画像



表彰式の様子

- オフサイトPPAによる太陽光発電を開始！年間400MWhの電力の供給と、年間206トンのCO2削減効果が期待される！

## オフサイトコーポレートPPAの一般的定義

- ・ 再生エネルギーの所有者である発電事業者（ディベロッパー、投資家等含む）と電力の購入者（需要家等）が、事前に合意した価格及び期間における再生エネルギーの売買取引を締結し、需要地ではないオフサイトに導入された再生エネルギーで発電された再生エネルギーを、一般の電力システムを介して当該電力の購入者へ供給する契約方式。



環境省の資料より抜粋



富山県射水市の太陽光発電設備

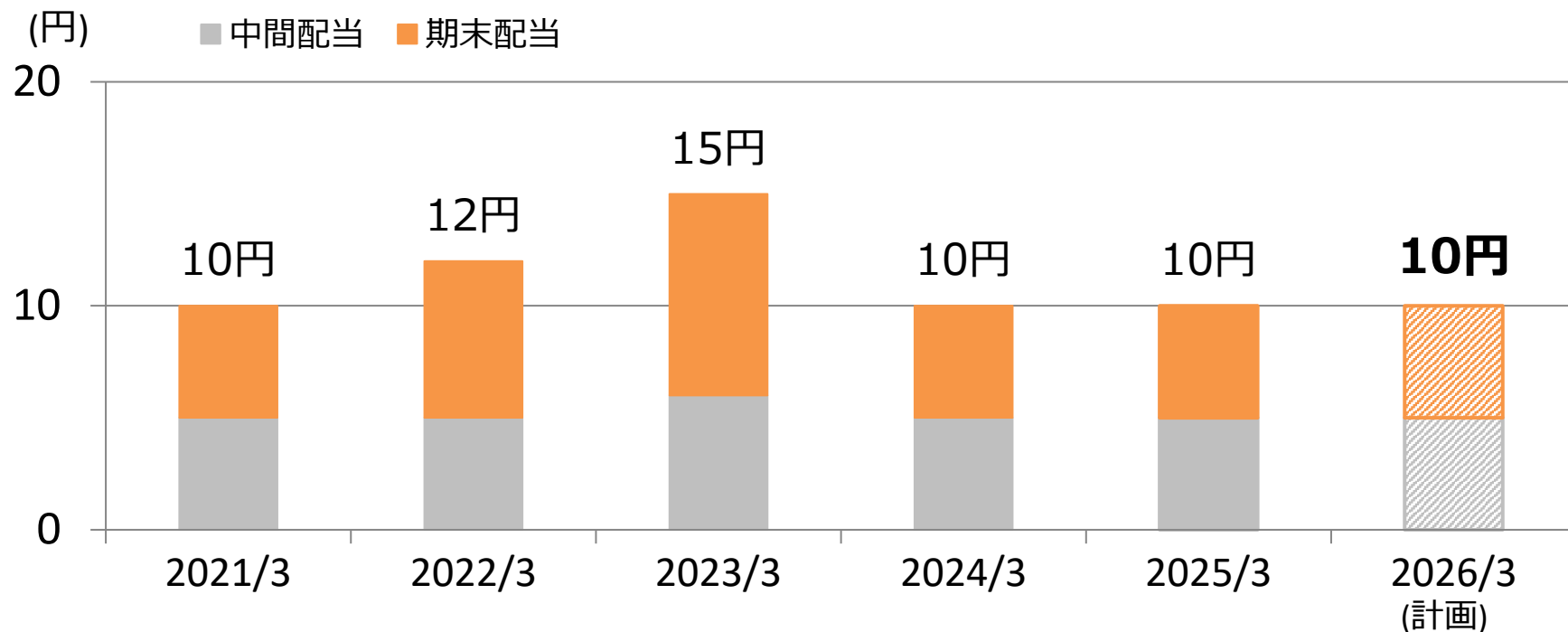
4

## 株主還元

---

# 株主還元

- ◆ 安定的な配当水準を維持する方針に従い、下限として1株当たり年間配当額10円を維持する
- ◆ 配当性向は40%程度で設定し、業績の回復、利益の増額とともに株主への還元額を増加させる



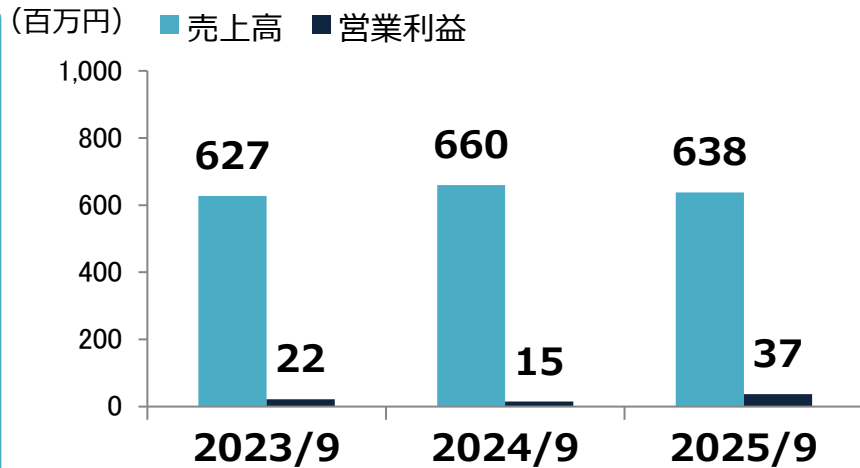
# 參考資料

---

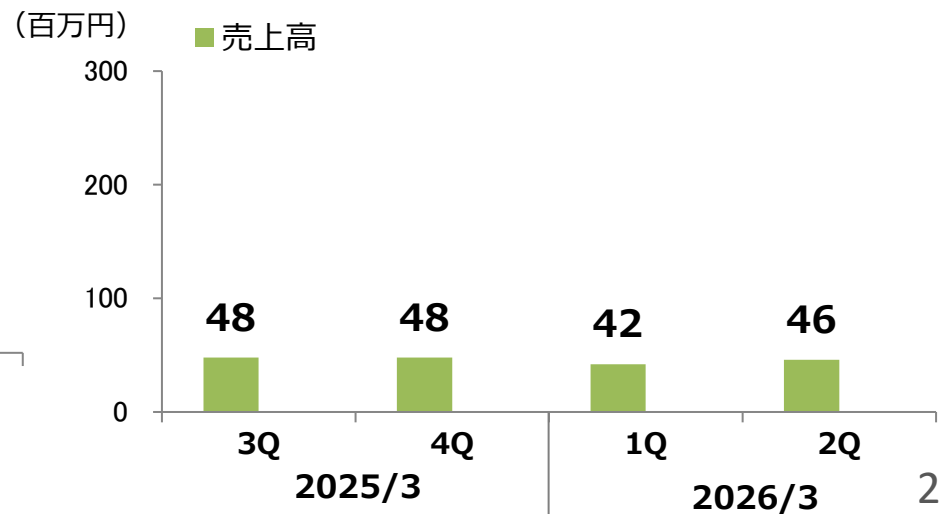
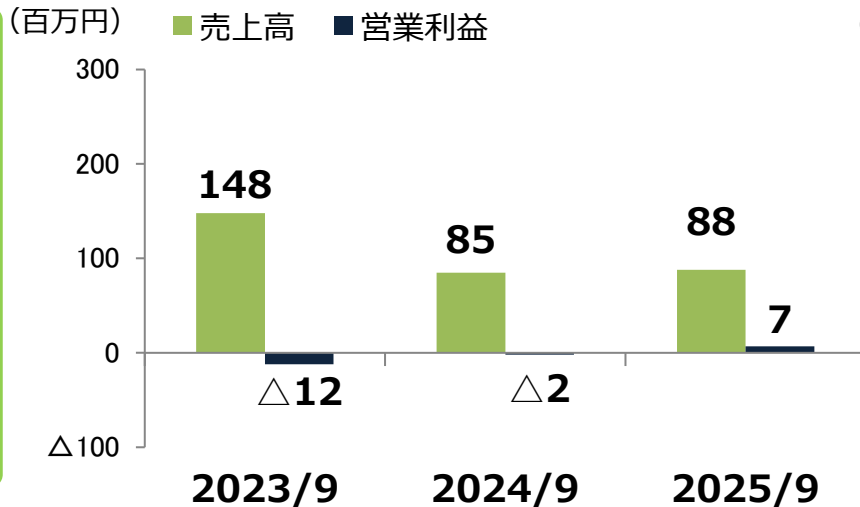
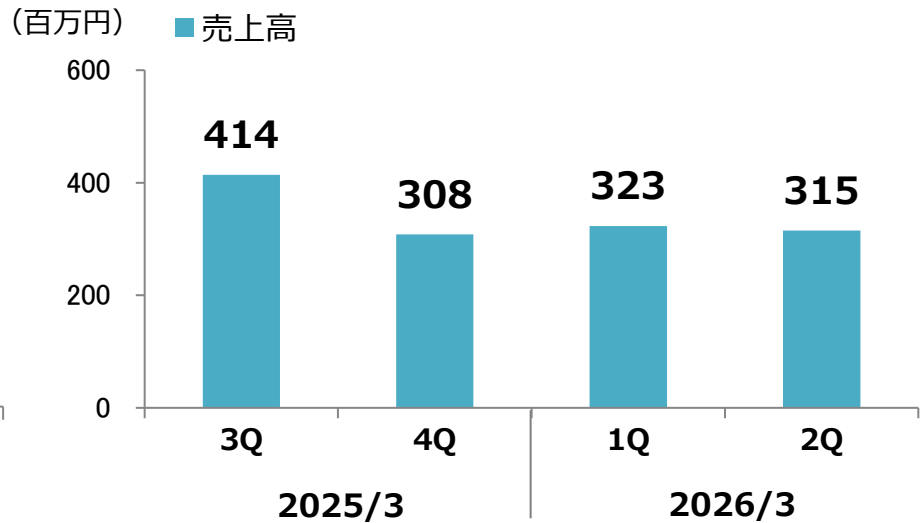
# I T 関連製造装置事業・自動車部品加工事業の状況

## 売上高・営業利益の推移

第2四半期（中間）



四半期会計期間



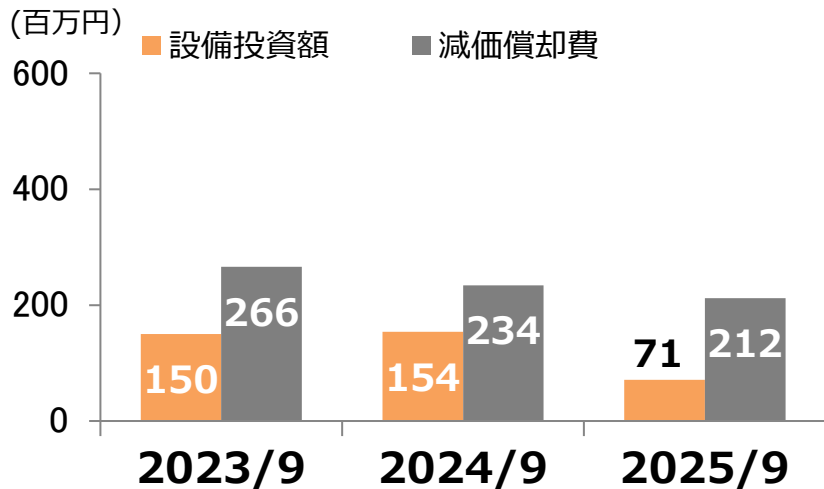
I T 関連製造装置事業

自動車部品加工事業

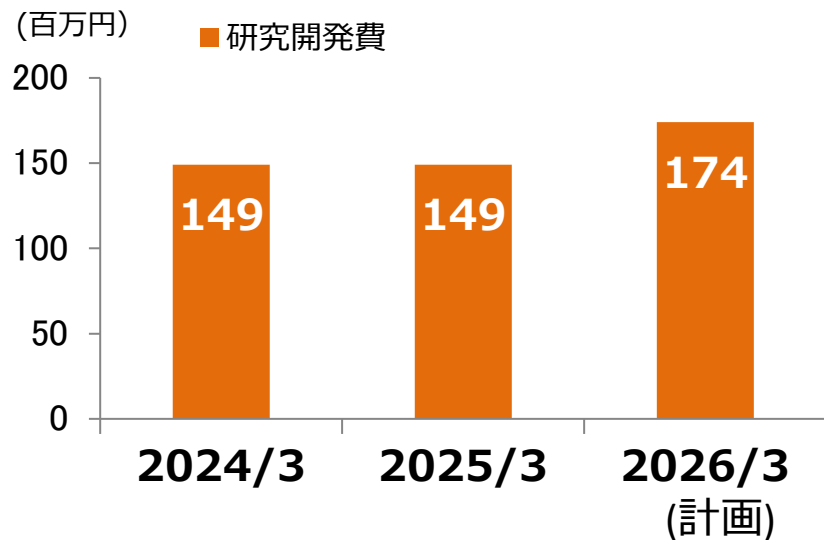
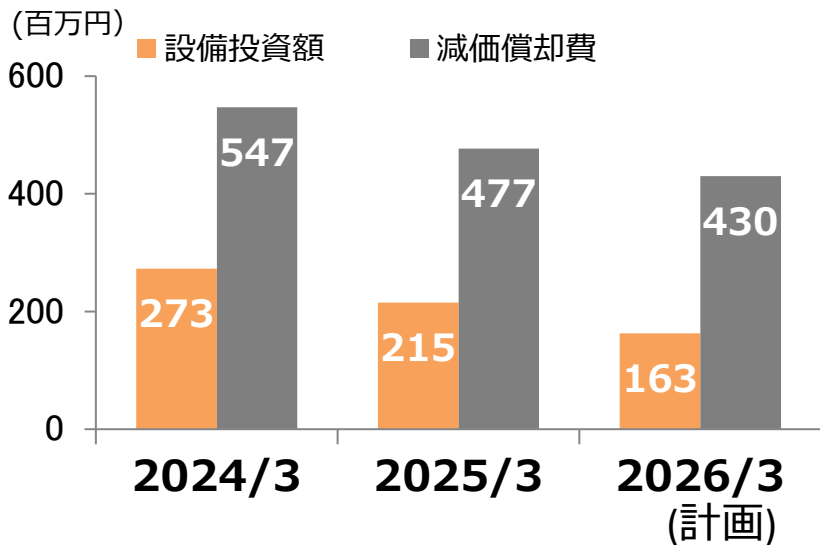
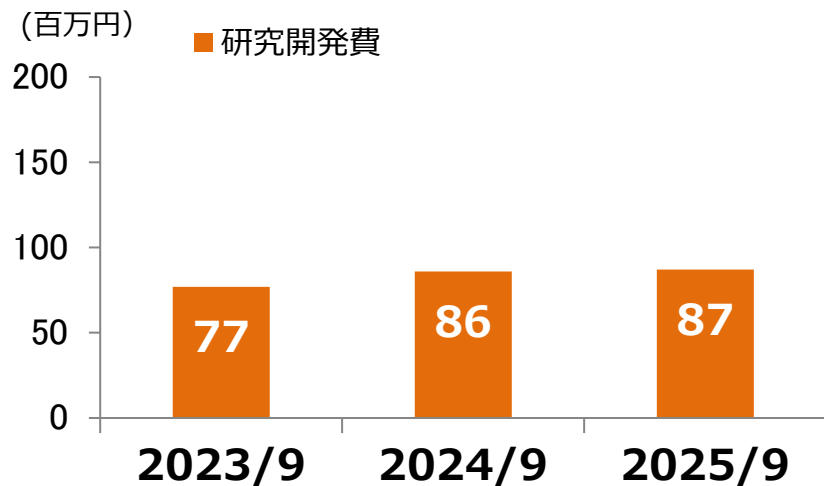


# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

## 設備投資額・減価償却費



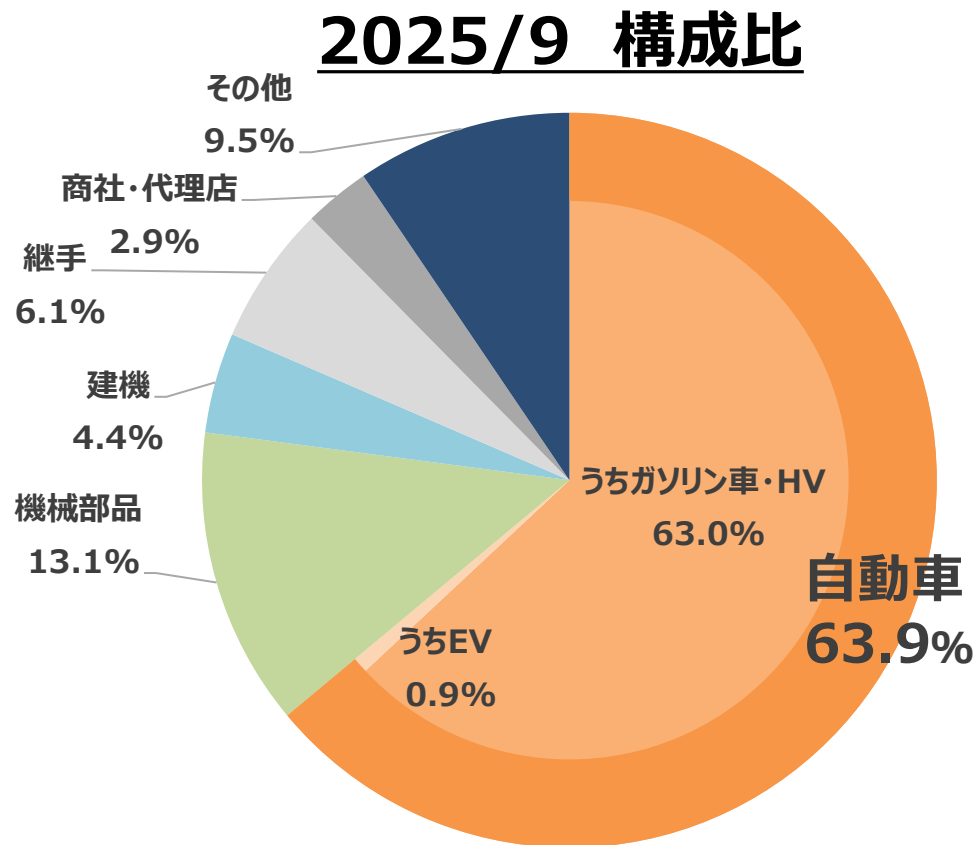
## 研究開発費



第2四半期(中間)

通期

# 業種別受注先の状況



(注) 受注高は、旋盤・改造機に限定しています。

## 直近の主な受注先

自動車業界	・ TOYOTA	・ いすゞ自動車	・ DENSO
	・ SUBARU	・ 豊田自動織機	・ ジェイテクト
自動車業界以外	・ 川崎重工業	・ SMC	・ 田中貴金属工業

# 会社概要



会社名	高松機械工業株式会社
設立年月日	1961年7月1日
所在地	石川県白山市旭丘1-8
資本金	18億35百万円
発行済株式総数	1,102万株
正社員数	連結：539名 単体：482名（2025年9月末現在）
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード 6155）

# 事業内容

## 工作機械事業 (123億27百万円)

### 事業内容

- CNC旋盤、周辺装置の製造、販売、サービス・メンテナンス



- コレットチャックの製造、販売



### 生産拠点

本社工場



あさひ工場



他 第2工場

## I T 関連製造 装置事業 (13億83百万円)

### 事業内容

液晶基板や半導体などに関係する製造装置の製造

### 生産拠点

開発センター



## 自動車部品 加工事業 (1億82百万円)

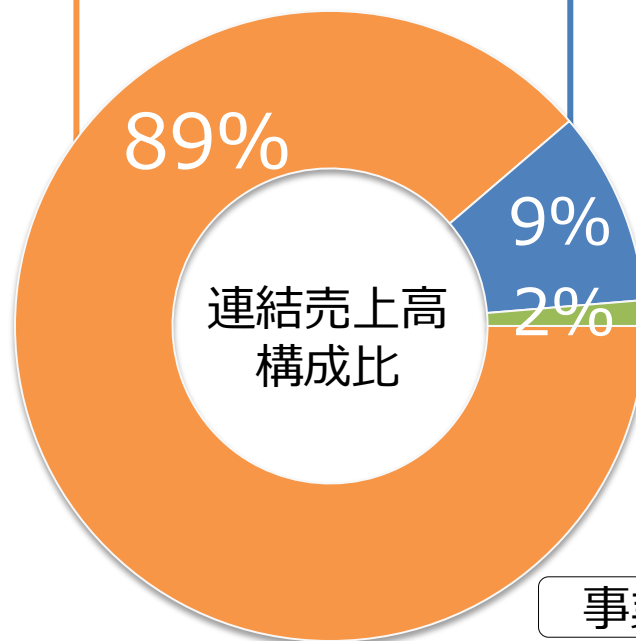
### 事業内容

自社製旋盤による  
自動車部品の加工



### 生産拠点

第3工場



連結売上高  
構成比

※売上高及び売上高構成比は2025年3月期の数値です。

# 営業拠点・グループ会社

## 国内営業拠点：9か所

関東、大阪、名古屋、  
浜松、厚木、東北、  
北陸、信越、広島

## 国内グループ会社：1社

- F T J

## 海外グループ会社：8社

- T M U (アメリカ)
- T M E (ドイツ)
- T M T (タイ)
- 喜志高松 (中国)
- 友嘉高松 (中国)
- P T T I (インドネシア)
- T M V N (ベトナム)
- T M M X (メキシコ)

国内では、自動車産業が盛んな地域での営業拠点の開設  
海外では、ユーザの海外進出に対応すべくグループ会社の設立



迅速かつ適切なサービス・メンテナンスの提供

# ■ 当社製品による加工例

## 当社製品による加工例

✓ 高品質が要求される、小さく丸い部品を加工

### 自動車関係（EV含む）（例）



ギヤ関係部品



足回り関係部品

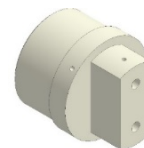


モータ関係部品

### その他（例）



エレベータードア部品



照明機器用部品



シャワー用部品

## 加工した部品の使用例

- 自動車
- 建設機械
- 航空機関連
- バイク
- 建材・設備機器
- 医療機器
- 家電製品

**主力受注先の自動車業界以外の分野の  
新規開拓にも注力**



# ■ 自動化技術

## 豊富なノウハウと自動化装置群

- 早くから自動化に取り組み、実績を積み上げ
- 自動化技術を組み合わせ、お客様に最適の生産ラインを提供

## 設計～製造まで一貫した生産体制

- 自動化装置・システムを自社で開発



ローダ



洗浄装置



ロボット



ストッカ



チップコンベア



計測装置



当社CNC旋盤



自動化装置群



お客様仕様の生産ライン



# 多様な製品ラインナップ

## ユーザーニーズに応える製品開発

高精度・高品質を維持しつつ生産性の向上を実現

省エネ・省スペース

環境負荷の低減

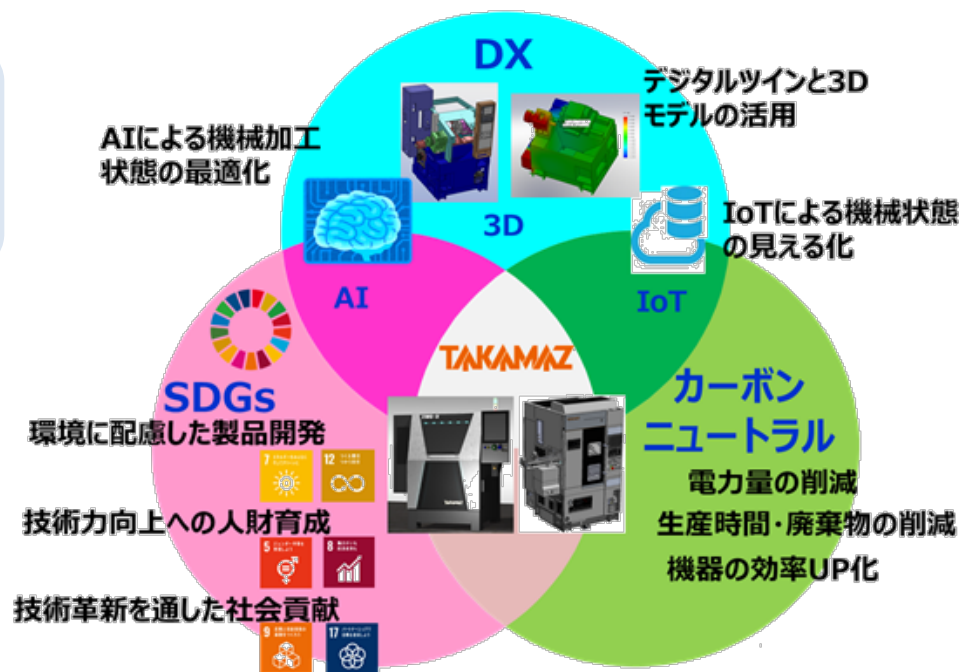
機能を特化した  
戦略機種

## 新製品開発の取り組み

「DX」・「SDGs」・「カーボンニュートラル」の  
3つのキーワードで  
新製品開発を進めています。



MEX金沢2025で注目の製品を多数展示





# 投資家・株主の皆様への情報発信

## HP

TAKAMAZ

検索

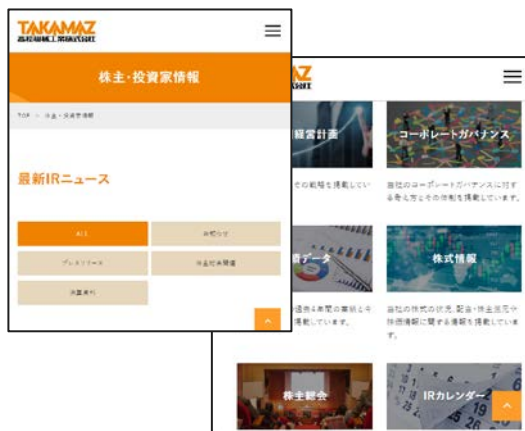


<https://www.takamaz.co.jp/>

### ●トップページ



### ●株主・投資家情報ページ



## 刊行物



### 株主通信

## 決算説明会資料

### 2026年3月期 中間期 決算説明会

2025年12月2日  
高松機械工業株式会社(証券コード: 6155)

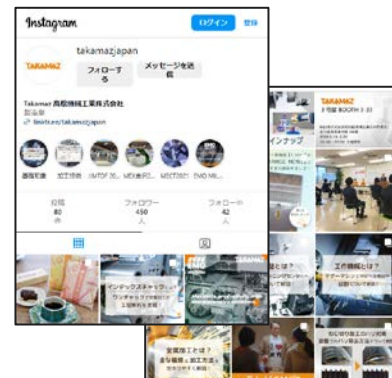


### サステナビリティ レポート

## ORANGE NEWS

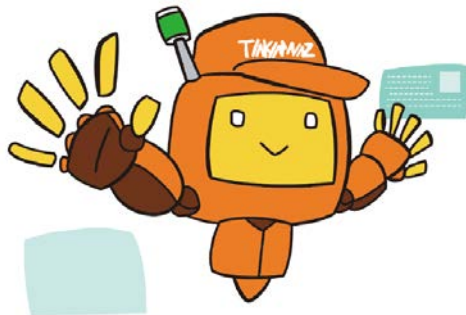


## SNS



# TAKAMAZ

<https://www.takamaz.co.jp>



## 当社公式キャラクター「たかま〜る」のご紹介

社内公募により、2025年4月に誕生しました。  
名前は、上昇イメージの「高まる」と、良い・丸く収めるの「〇」が由来となっており、当社の製品を使って気持ちを高めてほしい、という願いが込められています。